

## 平成 30 年度 県民の環境活動支援事業

## ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」実施報告書 (3)

## 第 3 回「チェーンソー入門講座」

特定非営利活動法人ちば里山センター

題 名	ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」 第 3 回「チェーンソー入門講座」 講義：「里山活動における動力機械の利用とその管理」 実習：「チェーンソーの基本操作」
日 時	平成 30 年 9 月 30 日 (日) 10:00~14:30
会 場	千葉県林業サービスセンター 研修室
出席者	受講生 21 名 (14 市) ・講師 2 名 ・スタッフ 1 名
内 容	10:00~11:50 講義：「里山活動における動力機械の利用とその管理」 講師：千葉県森林組合南部支所 千葉県林業サービスセンター長 木村 正敏 12:30~14:30 実習：「チェーンソーの基本操作」 講師：千葉県森林組合南部支所 千葉県林業サービスセンター長 木村 正敏
報 告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中の座学で木村講師は、林業労働災害による死亡事故について、平成 29 年度は 32 件と平成 28 年度 (41 件) に比べ減少傾向にあるが、作業区分別死亡災害では、伐採作業中の事故が過去 15 年の累計で 377 件と断トツに多く、そのうち 104 件がかかり木処理によるものと説明した。</li> <li>・林業に従事して 40 年、無事故、無災害でやってきた先輩の作業心得 12 項目についてクイズ形式で学習した。</li> <li>・「段取り八分が私の信念、決められたことを決められたとおりに実行すれば災害は防げる、山を甘く見るな、安全をつねに心がける、見込み作業はしない、呼子の携帯」といった短文に、作業心得が覚えやすく盛り込まれてあり、参加者との間で質問と回答を繰り返し、作業のスタンスを確認した。</li> <li>・木村講師は、かかり木になった時の処理方法を参加者に質問したところ、フェリングレバー、チルホルのほかに元玉切りの急斜面回答も出てきたため、元玉切禁止の指導を徹底するよう呼び掛けた。</li> <li>・テキストに目を移し、ヘルメット、防護服、防振手袋などの服装と保護具、受け口切り、追い口切りなど伐木作業の手順等を学習し、休憩後、ビデオを視聴して、講義内容をまとめた。</li> <li>・午後の講義はチェーンソー始動とその行程を説明し、チェーンソーを始動した。その後、玉切り、水平切りを実演し、見本を提示した。</li> <li>・参加者は始動から玉切り伐採実技を行った。初心者、初級者、中級者の順で玉切りを実施した。</li> <li>・初心者は動力機械の扱いに慣れず手こずる場面もあったが、ハンドルを握るごとに扱いに慣れさえ感じられた。</li> <li>・初心者の中でも二回目のトライアル伐採では余裕が出てきたのか、チェーンソーを持つ構えに落ち着きが出て切り具合も申し分ないものだった。</li> <li>・玉切りの練習を行う一方で、チェーンソーの歯の研磨、掃除など調整を行った。</li> <li>・玉切りの練習も二度目には極薄切りに挑戦するなど楽しんでいる様子も見られた。</li> <li>・木村講師が突っ込み切り、裏突っ込み切りが示され、参加者から質問が繰り返され、突っ込み切りをデモを繰り返し、納得する様子も見られた。</li> </ul>

添付資料



木村正敏講師



和やかな講義風景



チェーンソー扱いについて



午後の部チェーンソー実技



チェーンソー各部の名称



チェーンソー始動について





チェーンソー始動



チェーンソーによる玉切り



チェーンソー扱いについて



ソーチェーンの目立て



薄切りもできるように！



煎餅状の薄切りが山積みに